

屋久島警察署と

合同会議開く

屋久島警察署と屋久島警察署合同の森林犯罪対策会議を二月十八日屋久島警察署で開催しました。

会議には、営林署から十三名、警察署から十五名が参加しました。

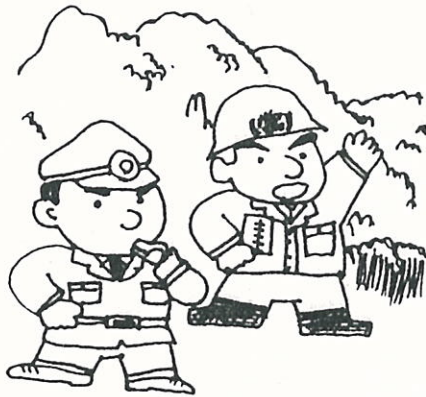
二ツ町生活安全刑事課長から犯罪現場における司法警察員の捜査対応について次のような講義がありました。

犯罪現場においては、必ず六何の原則に基づいて対応すること。具体的には、いつ、どこで、誰が、何を、誰に、どうした、ということを手相から聞き取り、必要な証拠写真と撮り、特に相手の氏名については、免許証等で確認すること。盗採品の写真撮影については、相手に示させる。どこから持ってきたか場所を特定させる。犯罪に使

用したものは、証拠品として領置することなどが大切であるということでした。

営林署から樋口次長が、ヤクスギ土埋木と生木の用途、販売価格等について説明しました。

このあと、質疑応答が行われ、今後ともこのような会議を重ね、両署で連携を密にして森林犯罪に対応することを申し合わせ、有意義のうちに終了しました。



熊毛地区植樹祭開かれる

平成七年度熊毛地区植樹祭が二月二日上屋久町永田の松原公園で開催されました。

植樹に先立ち永田公民館で式典が行われ、各種林業功労者、学校緑化コンクール入賞校等の表彰、白谷雲水峡の水源の森百選認定証の伝達が行われました。



式典のあと参加者全員によりスパーマツ二七〇本を植樹しました。この植樹祭は、熊毛地区において緑を愛し守り育てる意識を高めるとともに、生活環境の緑化の輪を広げ緑豊かな郷土作りを推進するために毎年開かれているもので、来年は南種子町で行われる予定です。

屋久島の植物



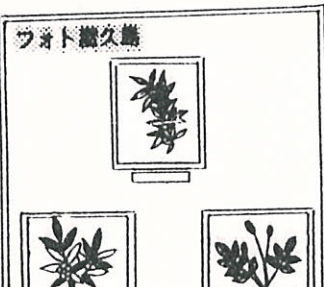
ウリハダカエデ (カエデ科)

落葉中高木、樹皮は帯黒緑色、斑があつて平滑であるが老樹では縦裂する。葉は対生葉柄ははじめ赤褐色の柔毛を生ずるが次第にほぼ無毛となる。葉身は掌状に三〜五裂、秋には黄葉または紅葉となる。花は五月葉とともに開き、黄

緑色、下垂する頂生総状花序をなし、雄花と両生花を別株に生ずる。生育地は屋久島が南限で温帯山地に分布する。材は辺心材の区別がなく、帯黄白色、軽軟であるが木理は密であるから経木材、箆材、玩具材などに利用される。

写真コーナーを設置

保全センターではこれまでに屋久島の動植物の写真を集めることになり、撮影して来ましたが、この四つ切り版が出来上がりましたので



庁舎内に写真コーナー「フォト屋久島」を設置しました。写真には動植物の名前、特徴、開花時期等を説明し、来所される人々に観賞していただくことにしています。

下池和彦専門官に待望の男児「一矢くん」が二月八日誕生しました。おめでとございます。お母さま母子共に健康のこと、また長女の「由華ちゃん」(二才)と「一矢くん」の健やかな成長をお祈りします。

小学生からお礼状

先口資料を送っていただいた飯塚健介です。お忙しいところ、すぐに送っていただきありがとうございました。とても役に立つ資料ばかりでうれしかったです。ほんとうにありがとうございました。 さようなら

先程埼玉県浦和市の小学五年生飯塚健介君から、「森林のはたらき、屋久島の様子、動物の種類などについて、勉強したいので資料を送っていただけませんか」と電話依頼があり、保全センターでは普及教育の一環として早速関係する資料を送付していたところ、このほど健介君から礼状が届きました。